

# アメリカ研修で大きな成果



3月11日から23日までの13日間、米国教育文化研修派遣事業（岩手国際理解推進協会主催）に本町から2人の中学生が参加しました。アメリカインディアナ州でのホームステイや学校での授業体験などを通じ、多くのことを学ぶことができました。研修の感想を寄せていただきましたので紹介します。



私は、インディアナ州の南にあるジャスパーという町にホームステイ

しました。ホストファミリーとは事前にメール交換をしていたので、対面は不安よりも早く会いたい気持ちでいっぱいでした。

ホストファミリーはファザーが医者、マザーが先生で子ども3人の裕福な家庭でした。ホストシスターは、私のイメージよりも体が大きかったのですが、積極的に話しかけてくれたので、すぐにコミュニケーションがとれました。

ホストファミリーはアメリカの文化を体験させるため、いろいろな所に連れて行ってくれました。食事はとにかく驚くことばかりでした。朝食はシリアルで甘い物が多く、最初は胸やけをして大変でしたが少しずつ慣れてきました。

## 世界は一つであること

野頭京さん（葛巻中3年）

学校生活は自由な国、アメリカならではの感じます。服装は自由、メイクやピアスをして先生に怒られることはありません。それでも授業中は私語はなく、みんな先生の話を一生懸命に聴き、真剣なものでした。これは見習うべきところだと思いました。

今回の研修では多くのことを学びました。国や文化、人種が違っても「世界は一つである」ということです。そして、言語が違ってもしっかりと心は通じ合います。理解することが可能です。私はこれまで世界をリードしているアメリカという国に強い思いを持っています。したが、その国を訪問でき、楽しい思い出は私の人生の大きな財産となりました。これからさらに英語を勉強し、将来国際関係の仕事に就けるように頑張りたいです。本当にこのような素晴らしい機会を与えていただき、ありがとうございました。



ホストファミリーと過ごす野頭さん



「世界に1つだけの花」を歌い、感謝を伝えたお別れパーティー



今回の研修で、私の一番の思い出はみんなの「笑顔」です。

アメリカに行く前は不安もありましたが、ホストファミリーと過ごしているうちに不安はなくなり、あるのはいつも笑顔でした。

ホームステイ初日、私を温かい笑顔で迎えてくれた私のホストファミリー。でも、どこかお互いにぎこちない笑顔。私を気に入ってくれたか、最初は本当に不安でした。でも、実際は私の片言の英語に真剣に耳を貸してくれて、返事はいつも笑顔でした。そして、私も知らないうちに、ずっと笑顔になっていました。

私は、ホストファミリーからたくさんのもをもらいました。ジャスパーの町で買ってくれた品物、写真、思い出として「笑顔」。私のことを気

## Big Smile

落宰悠さん（小屋瀬中3年）

今回の研修で、私の一番の思い出はみんなの「笑顔」です。一週間のホームステイで、人に対するの優しさなどたくさん学ぶことができました。アメリカ研修を通して、国際交流の大切さ、言葉の国境を越えた人と人とのつながりなどを心から感じました。

小学生のころから海外へあこがれていた私は、研修に参加し、ますます海外への思いが強くなりました。これから英語の勉強に力を入れ、将来は外国の人たちと触れ合えるような仕事ができると考えています。

研修に参加できて、本当に良かったと思っています。たくさんの方のサポートのおかげで、本町にありがとうございました。

## 葛巻の乳製品はいかが？

江刈中と小屋瀬中 修学旅行で販売体験



お客様との触れ合いは貴重な体験（江刈中）

江刈中（川村俊校長）と小屋瀬中（吉田幸雄校長）の三年生四十二人は四月十八日、今年初めて実施した江刈中修学旅行先の東京都で町産品の販売体験や町の宣伝活動に挑戦しました。体験は、銀座にある岩手県のアンテナショップ「いわて銀河プラザ」のイベントコーナーで行われ、江刈中は午後一時から、小屋瀬中は二時半からの各一時間半、来場者にくずまき高原牛乳やヨーグルでも牛乳の消費拡大につながると思います。試食担当の岩泉典華さんは「商品の感想や岩手県の印象などを聞き、東京に住んでいる人から見た岩手県を売る接客を通じ、ふるさとを見つめる機会にもなりました。」

本の太鼓は世界中に有名で、間くと武士の時代を思い浮かべます。尺八を含め、日本の伝統をますます伝えられると思います。

初めて小屋瀬中学校へ行ったときに紹介式があり、そこで応援団が僕を激励してくれたのです。その時こそ、日本文化の中に入ったような気がしました。



英語指導の始まりは小屋瀬中1年生

です。アメリカでは普通、高校を終わるとき卒業式が行われます。映画などで見たことがあると思いますが、最後の生徒が卒業証書を渡された後、みんなが帽子を空中に投げ上げます。その儀式で高校時代が終わったことを示しているのでしょう。4月6日は葛巻中学校の入学式に出席しました。入学式は初めての経験でした。アメリカでは入学式はほとんど無いと言われています。アメリカに無い「しきたり」がたくさんあるので、日本文化にさらに興味を持つことになりました。

日本の入学式の気に入ったところは応援団です。はちまきをしている姿を見て、太鼓と大声の響きを聞くと日本文化を強く感じるのです。日

## すようなごどで

① デイビッド・マナーリオ（指導主事助手・28歳）



## 卒業式と入学式

3月14日に葛巻中学校の卒業式に出席しました。日本での卒業式は初めてなので、とてもいい経験になりました。大勢の前でお辞儀をするのはやはり緊張してしまいましたが、体育館は寒すぎず緊張感をすっかり忘れてしまいました。

葛巻中学校の3年生の姿を見ながら中学校時代を思い出しました。僕の3年生の時と違いがあります。それは中学校の卒業式がなかったこと

この文章は、デイビッドさんが日本語で書いています